

# 2022年3月期第2四半期の業績説明及び 2022年3月期通期の業績予想



2021年10月25日



石塚硝子株式会社

ISHIZUKA GLASS Co., Ltd.

## 1. 2022年3月期第2四半期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント業績、売上高、営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー
- 連結業績推移

## 2. 2022年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- セグメント別売上高
- 連結業績推移

# 連結業績ハイライト

- ✓ 前年の緊急事態宣言下に比べて市況に復調の兆しが見られ、稼働率の向上により採算が向上し、売上高及び各利益ともに増収・増益となる。
- ✓ 東京の営業拠点移転に伴う固定資産売却益785百万円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅に増加。

(単位：百万円)

項目	2020/3月期 2Q累計実績	2021/3月期 2Q累計実績	2022/3月期 2Q累計実績	前年同期比		一昨年同期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	38,912	33,161	36,314	3,152	9.5%	▲2,597	▲6.7%
営業利益	1,562	264	2,024	1,760	666.2%	462	29.6%
営業利益率	4.0%	0.8%	5.6%	—	4.8%	—	1.6%
経常利益	1,442	286	2,183	1,896	661.1%	740	51.3%
四半期純利益 ※	979	▲93	1,927	2,020	—	947	96.8%

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益

# セグメント業績

## ガラスびん関連事業

売上高6,627百万円（前年同期比4.7%増）

- ✓ 飲食店向けのノンアルコール用途びんの需要が増加



## ハウスウェア関連事業

売上高5,834百万円（前年同期比16.0%増）

- ✓ ガラス食器は、企業向け景品の受注と一般市場向けの販売が堅調に推移
- ✓ 陶磁器は、国内のホテル向けの受注が大きく減少したものの、海外のエアライン向けを除き受注が増加



# セグメント業績

## 紙容器関連事業

売上高**3,771**百万円（前年同期比**0.2%**増）

- ✓ 充填機の販売はあったものの、主要ユーザーからの受注が減少



## プラスチック容器関連事業

売上高**16,301**百万円（前年同期比**8.4%**増）

- ✓ 夏場の天候不順の影響は受けたものの、前年に初めての緊急事態宣言が発出されたことによる外出自粛の反動により需要が増加



# セグメント業績

## 産業器材関連事業

売上高1,084百万円（前年同期比34.6%増）

- ✓ 前年度より引き続き巣ごもり需要の増加に伴い調理器用トッププレートの受注が増加



## その他事業

売上高2,694百万円（前年同期比22.8%増）

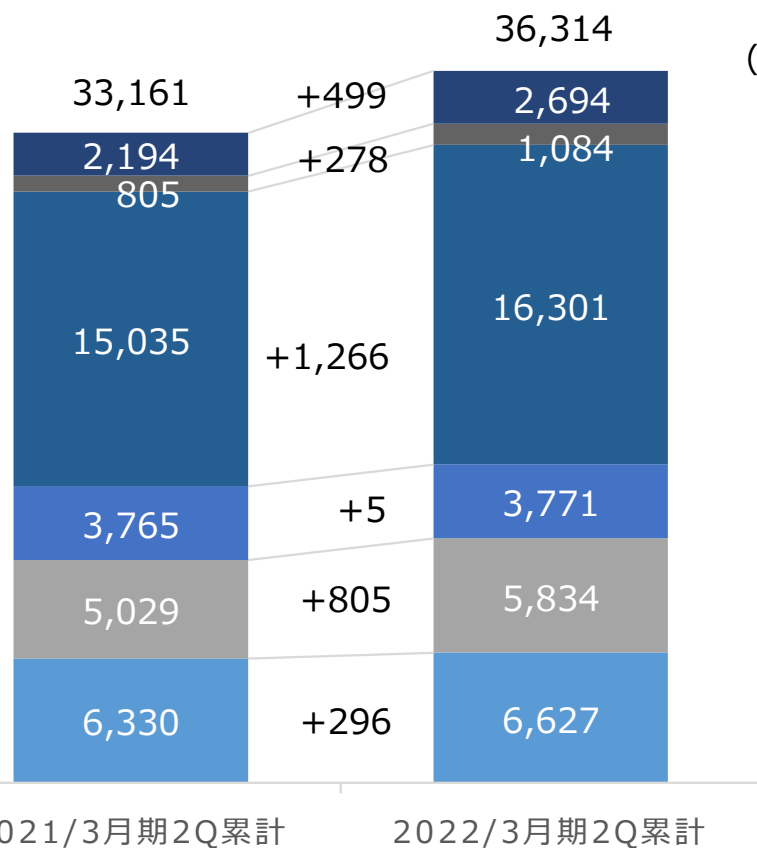
- ✓ 抗菌剤は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内及び海外市場ともに昨年から引き続き旺盛な需要があり販売を拡大
- ✓ 金属キャップは、酒類及び医薬品向けともに出荷が伸び悩む



# セグメント別売上高

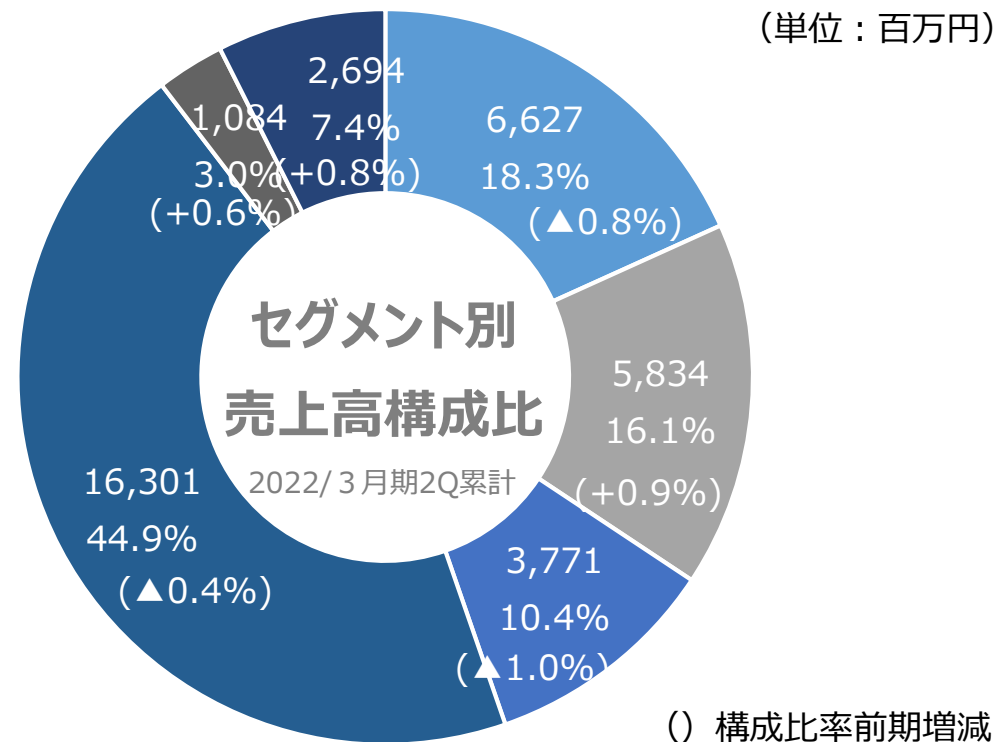
## 売上高

- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他



(単位：百万円)

- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他



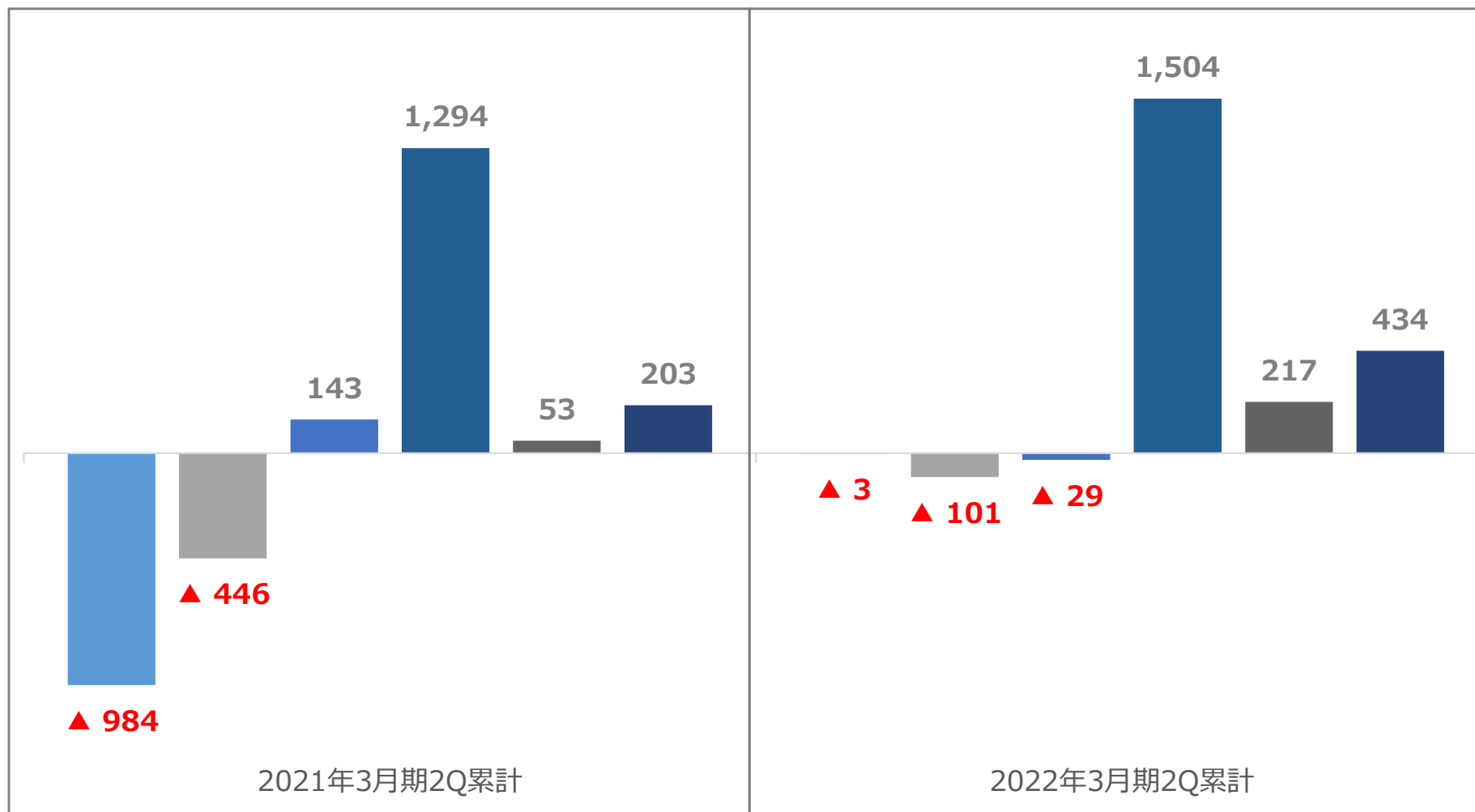
(単位：百万円)

( ) 構成比率前期増減

# セグメント別営業利益

(単位：百万円)

■ ガラスびん関連 ■ ハウスウェア関連 ■ 紙容器関連 ■ プラスチック容器関連 ■ 産業器材関連 ■ その他





# 連結貸借対照表

連結貸借対照表の主な変動要因

(単位：百万円)

<b>流動資産 38,326 (前期末比+1,959)</b> 受取手形及び売掛金 +1,841、商品及び製品+495、 その他 (未収金) ▲566	<b>流動負債 23,576 (前期末比▲419)</b> 支払手形及び買掛金+2,310、短期借入金▲2,886
<b>固定資産 42,424 (前期末比▲1,520)</b> 有形固定資産▲1,783、投資有価証券+270	<b>固定負債 28,625 (前期末比▲1,283)</b> その他 (リース債務) ▲758、社債▲380、長期借入金 ▲320
<b>繰延資産227 (前期末比▲25)</b> 社債発行費の減少	<b>純資産28,777 (前期末比+2,117)</b> 利益剰余金+1,927
<b>総資産合計 80,978 (前期末比+414)</b>	<b>負債及び純資産合計 80,978 (前期末比+414)</b>

自己資本比率30.9% (前期末比+2.3%)

～トピックス～

- ✓ 売上高の増加に伴い運転資本も増加
- ✓ 営業拠点の売却などもあり有形固定資産が減少。有利子負債を削減し、資金面での弾力的な運用を図る
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加で、自己資本比率は30.9%まで回復

8

# 連結キャッシュ・フロー

項目	2021/3月期 2Q累計	2022/3月期 2Q累計	増減
<b>営業活動によるCF</b>	<b>620</b>	<b>4,130</b>	3,510
税金等調整前四半期純利益	167	2,931	2,763
減価償却費	2,245	1,796	▲449
運転資本の増減額（△は増加）※	▲1,347	73	1,421
その他	▲445	▲669	▲224
<b>投資活動によるCF</b>	<b>▲3,694</b>	<b>437</b>	4,131
有形固定資産の取得による支出	▲3,658	▲1,261	2,397
有形固定資産の売却による収入	14	1,797	1,783
その他	▲50	▲99	▲48
<b>財務活動によるCF</b>	<b>4,773</b>	<b>▲4,319</b>	▲9,093
短期借入の増減額（△は減少）	4,280	▲2,640	▲6,920
長期借入・社債の発行による収入	5,201	50	▲5,151
長期借入の返済・社債の償還による支出	▲4,964	▲1,121	3,842
セール・アンド・リースバック取引による収入	1,238	243	▲994
リース債務の返済による支出	▲754	▲823	▲69
その他	▲227	▲27	200
<b>現金及び現金同等物</b>	<b>4,353</b>	<b>3,867</b>	<b>▲485</b>

(単位：百万円)

※ 売上債権の増減額、たな卸資産の増減額及び仕入債務の増減額の合計

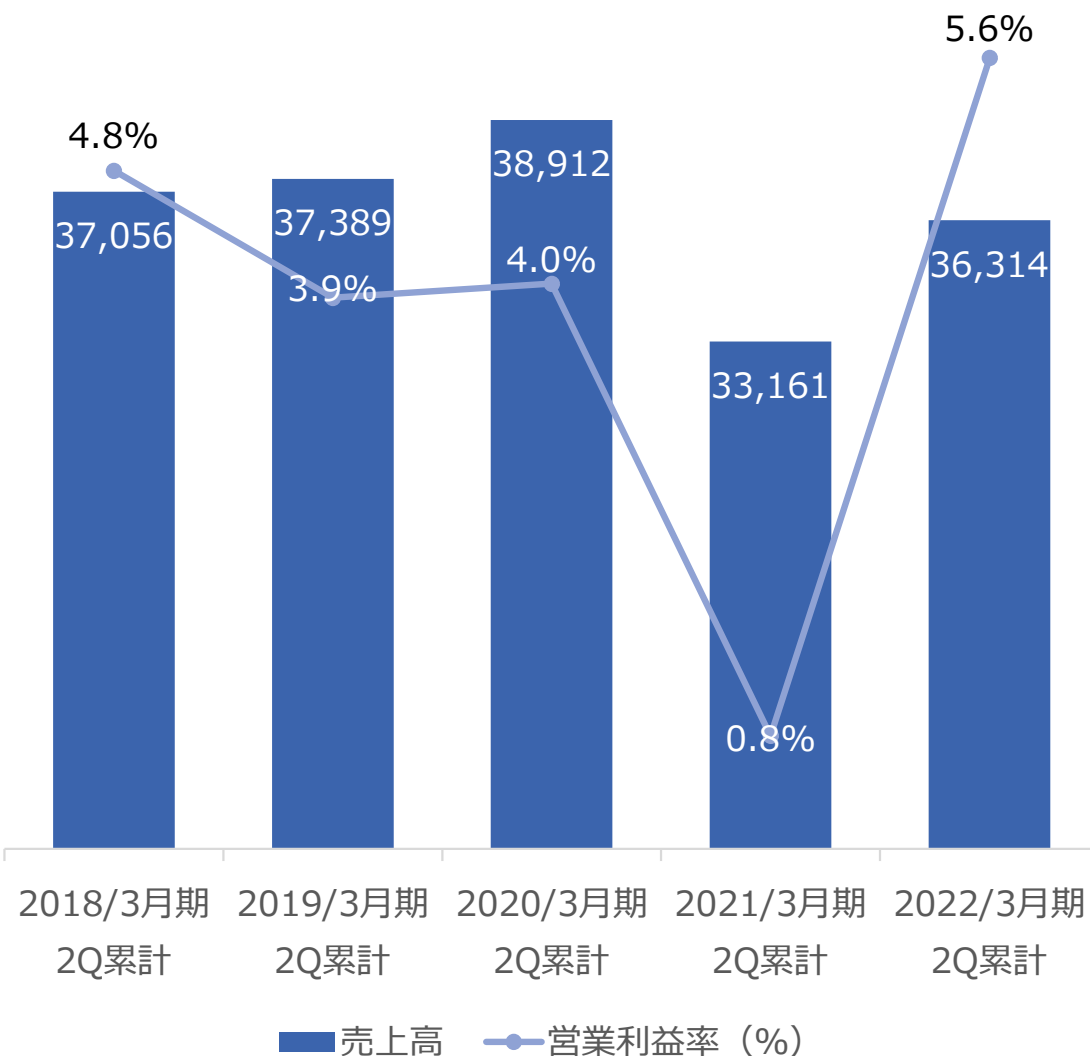
## ～トピックス～

- ✓ 税金等調整前四半期純利益の増加により営業CFは大幅に改善
- ✓ 営業活動によるCFと投資活動によるCFで得た資金を元手に有利子負債の削減を図る（P.8参照）

# 連結業績推移

## 売上高及び営業利益率

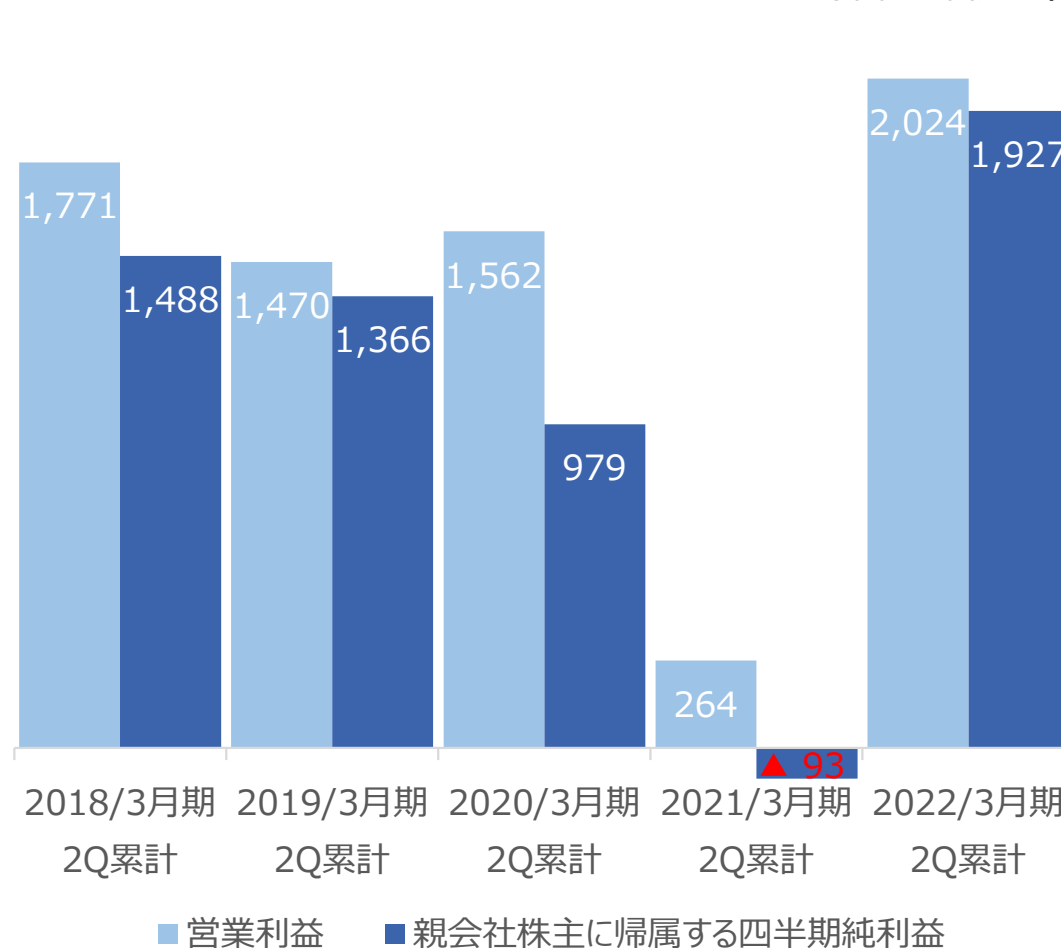
(単位：百万円)



## 営業利益及び

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



## 1. 2022年3月期第2四半期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント業績、売上高、営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー
- 連結業績推移

## 2. 2022年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- セグメント別売上高
- 連結業績推移

# 通期業績予想

- ✓ 売上高は概ね計画通りに進捗しており、当初予想数値を据え置く。
- ✓ 各利益については、稼働率の向上により採算が向上し上期実績が上振れたこともあり、通期においても増益となる見通し。なお、下期については原油や諸資材価格の高騰が見込まれることから、上期対比で大きく減益となる見通し。

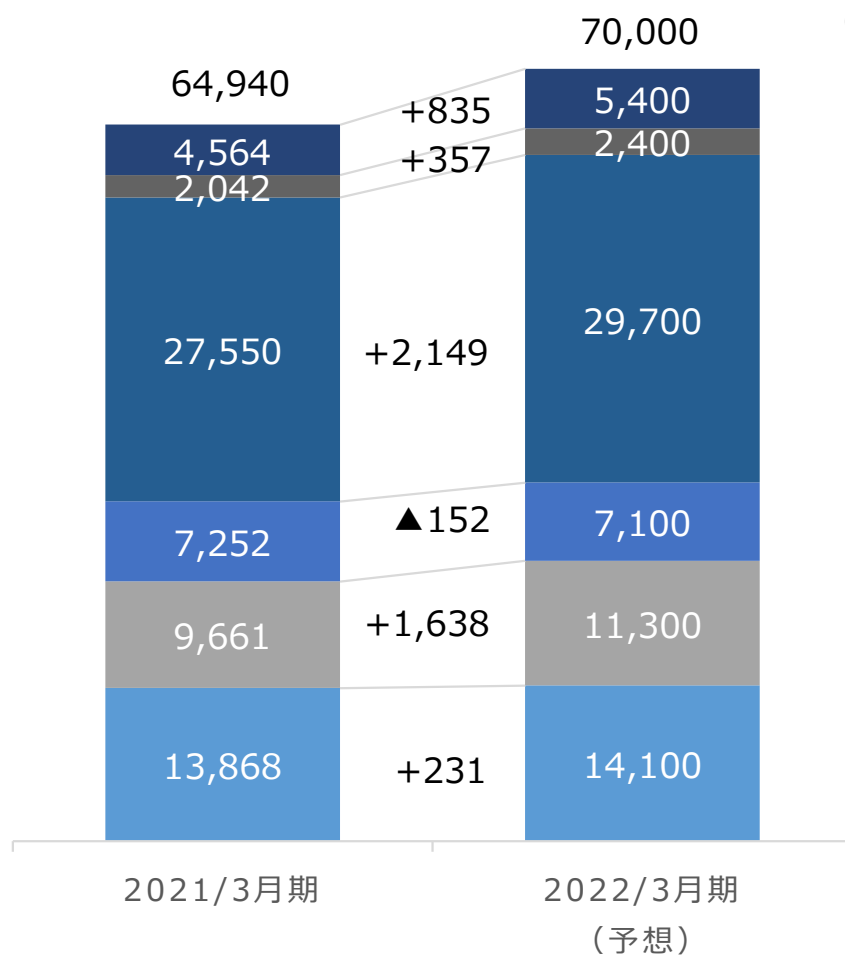
(単位：百万円)

項目	2022/3月期 当初業績予想	2022/3月期 修正業績予想	増減	増減率	2021/3月期 実績 (ご参考)
売上高	70,000	70,000	—		64,940
営業利益	2,100	2,500	400	19.0%	852
営業利益率	3.0%	3.6%	—	0.6%	1.3%
経常利益	1,900	2,500	600	31.6%	1,153
当期純利益 ※	1,700	2,200	500	29.4%	▲3,023
配当金	45円	45円	—		無配

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

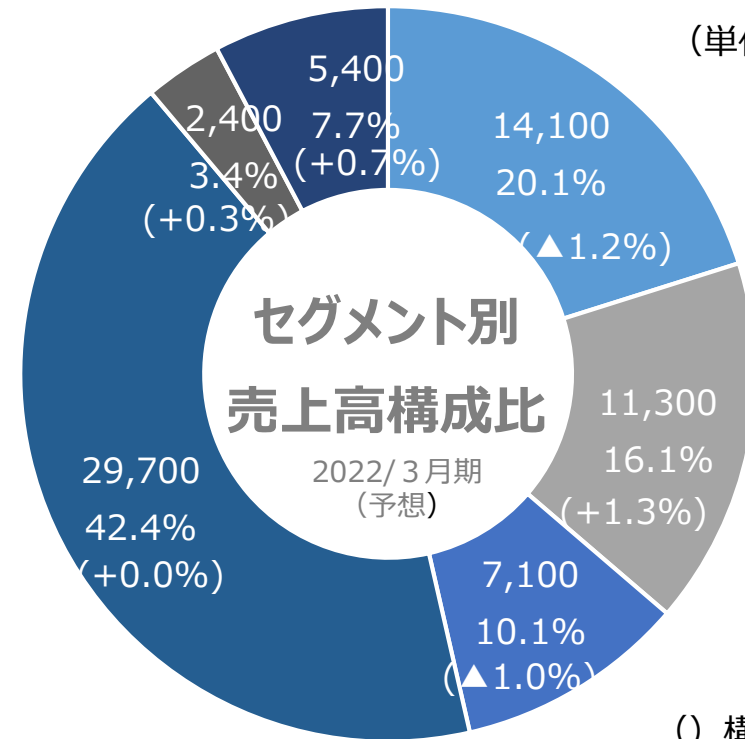
# セグメント別売上高

- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他



- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他

(単位：百万円)



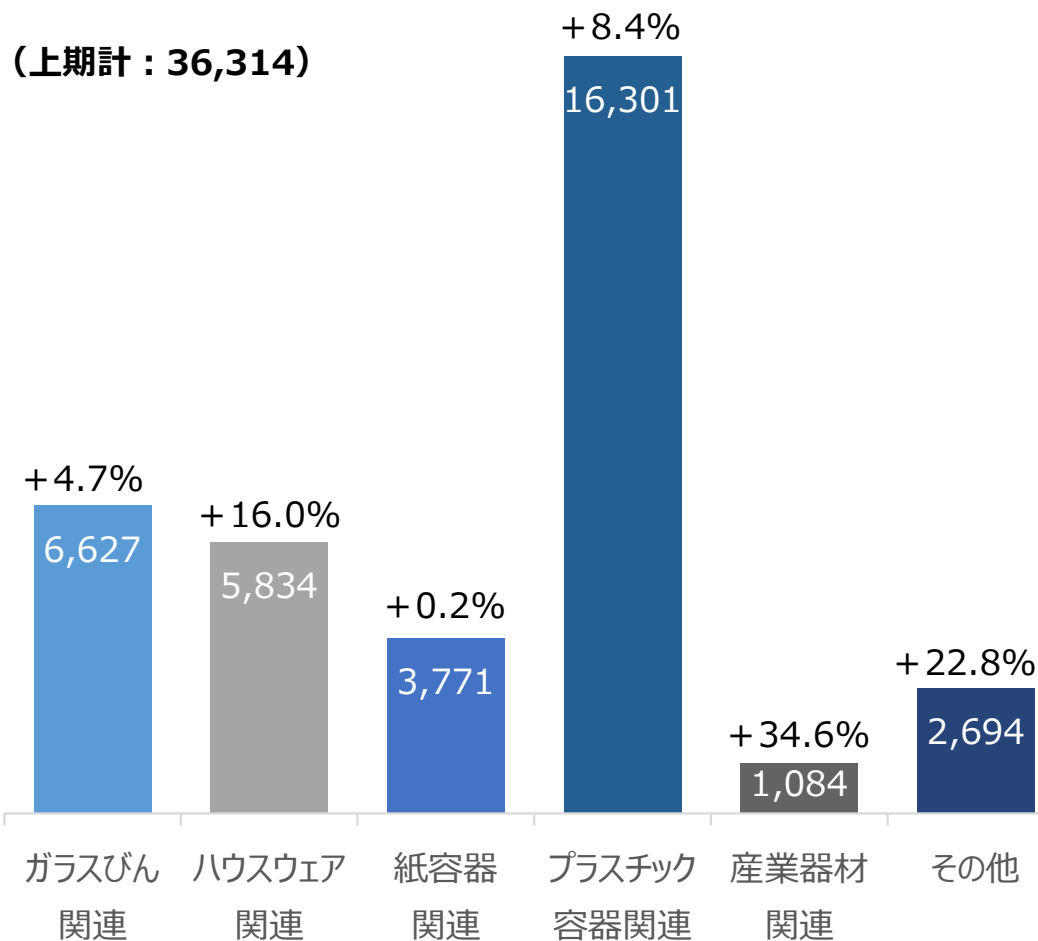
( ) 構成比率前期増減

# セグメント別売上高

## 2022年3月上旬売上高実績

### 前年同期比増減率

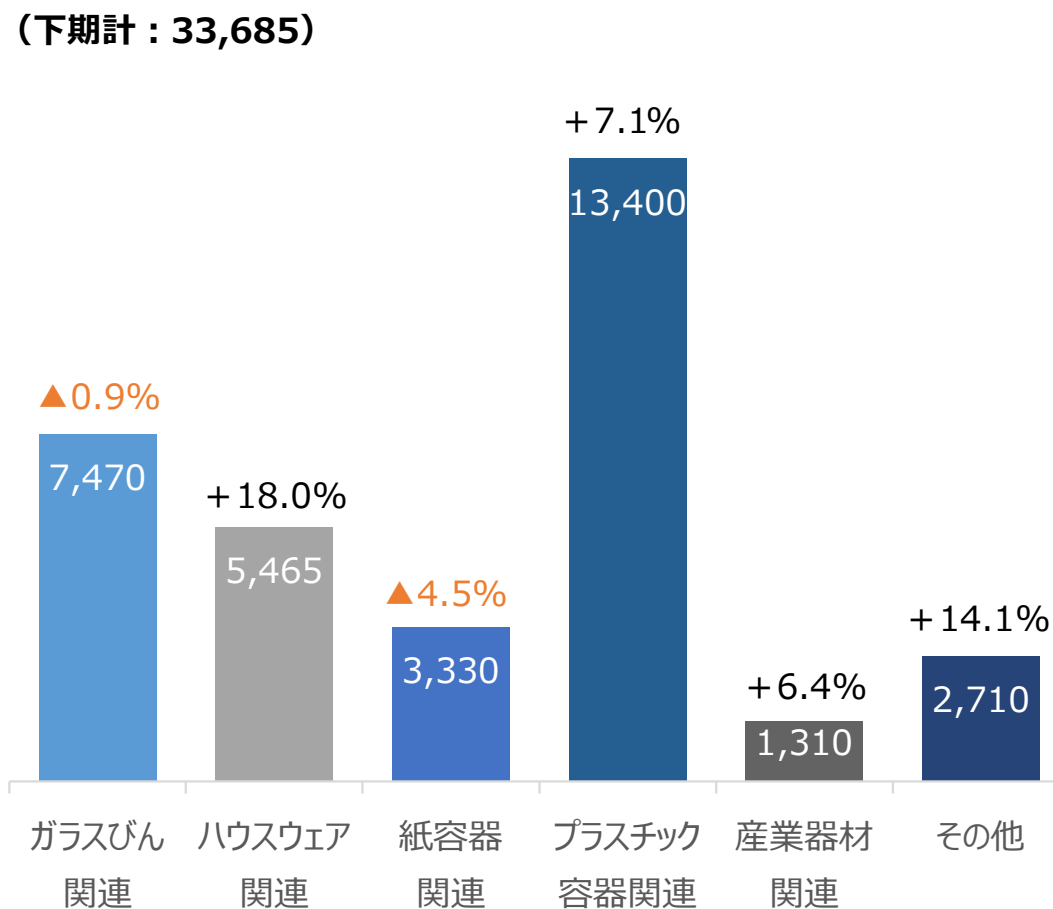
(単位：百万円)



## 2022年3月期下期売上高予想

### 前年同期比増減率

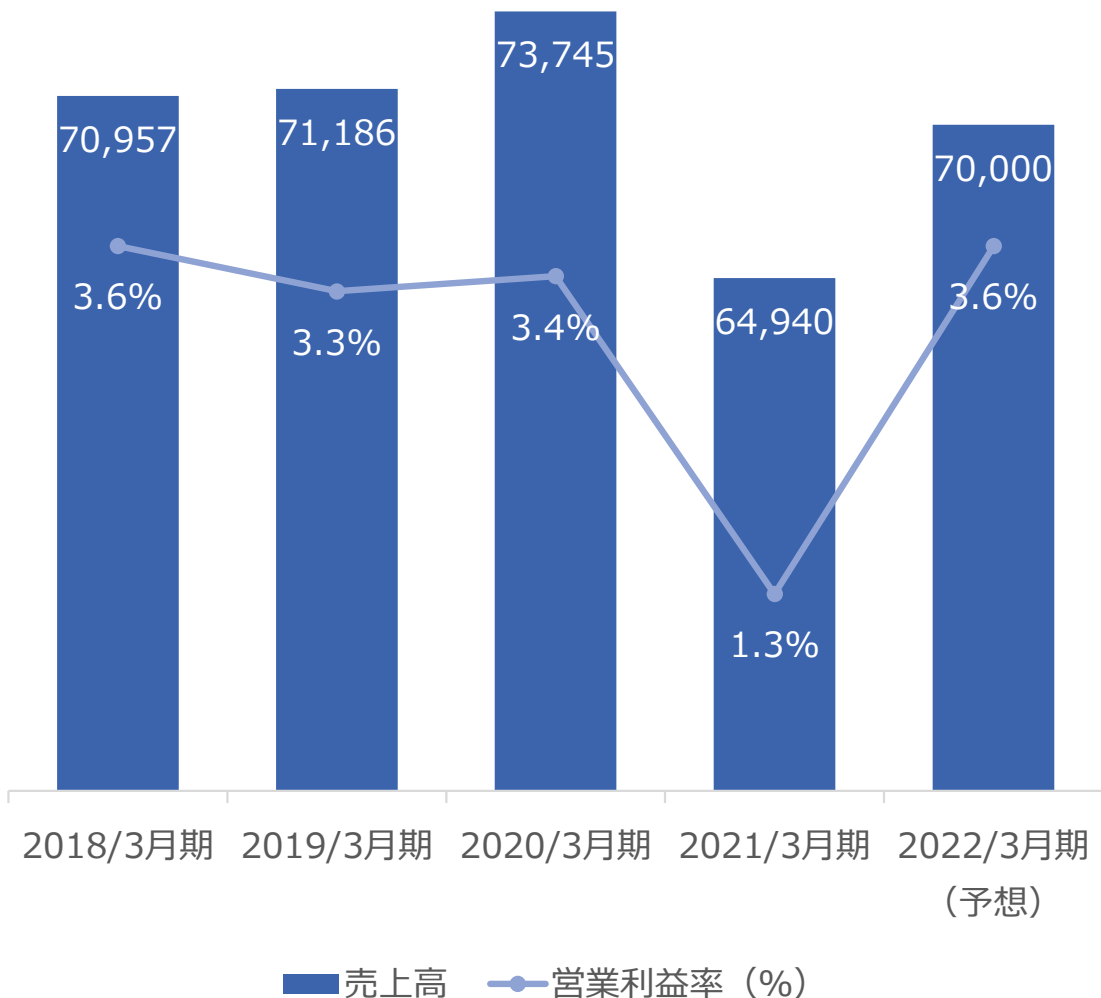
(単位：百万円)



# 連結業績推移

## 売上高及び営業利益率

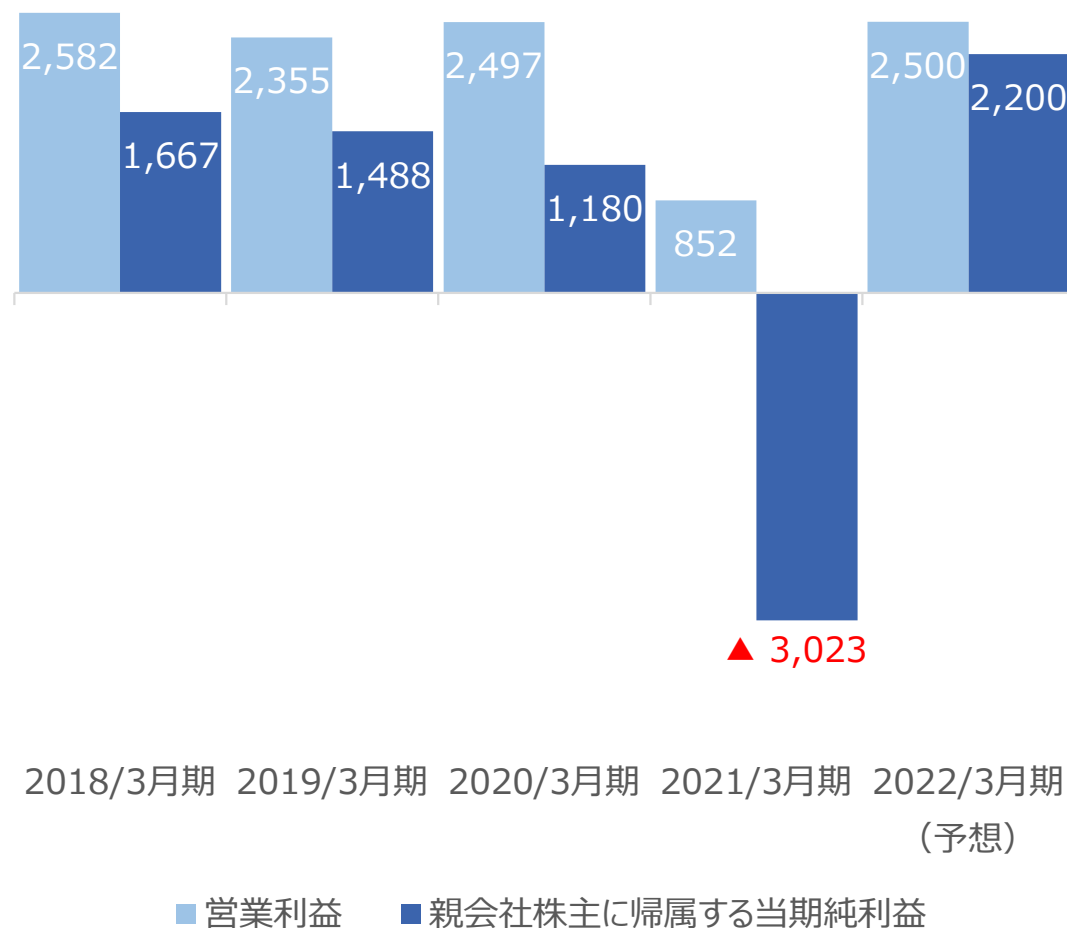
(単位：百万円)



## 営業利益及び

## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)





# 本資料についての留意事項

- 本資料は金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。